

# 3 成 果 発 表

## 薬物乱用防止高校生会議成果発表

令和4年11月20日（日曜日）、都庁第一本庁舎5階大会議場で開催された「令和4年度麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動都民大会」において活動成果発表を行いました。

本年度の都民大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため関係者のみの観覧とし、大会の様子はY o u T u b eで配信されています。

参加生徒らは、薬物の基本的な知識や現状に加え、思いもよらぬうちに「大麻の運び屋」になってしまった若者の話を演劇にして発表し、「薬物の害から身を守るためには、薬物問題を自分事としてとらえることが大切である」という強いメッセージを発信しました。

以下、活動成果発表の資料を掲載いたします。



# 東京都立三田高等学校 活動成果発表資料

## 薬物乱用防止高校生会議

### 東京都立三田高等学校

みなさんは、薬物乱用を身近な問題として感じた経験はありますか。  
今回、私たちは、薬物乱用って学校で説明を受けるけど、自分には関係ないやと思ってしまっている同世代の方々に、少しでも身近に感じてもらえたらと思っています。

まず、今回の発表内容を理解してもらうためにも、薬物の種類について説明していきます。



## 薬物の種類

- 大麻
- 覚醒剤
- 麻薬  
(コカイン、ヘロイン、LSD、MDMA等)
- 危険ドラッグ (ラッシュ、HHC等)

自分には関係ない

etc...

➡ **薬物が身近に潜んでいることを知ってほしい**

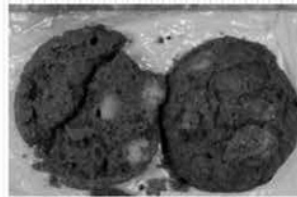
乱用される代表的な薬物の種類としては、大麻・覚醒剤・コカインなどの麻薬・危険ドラッグなどが挙げられます。



MDMA



大麻チョコ

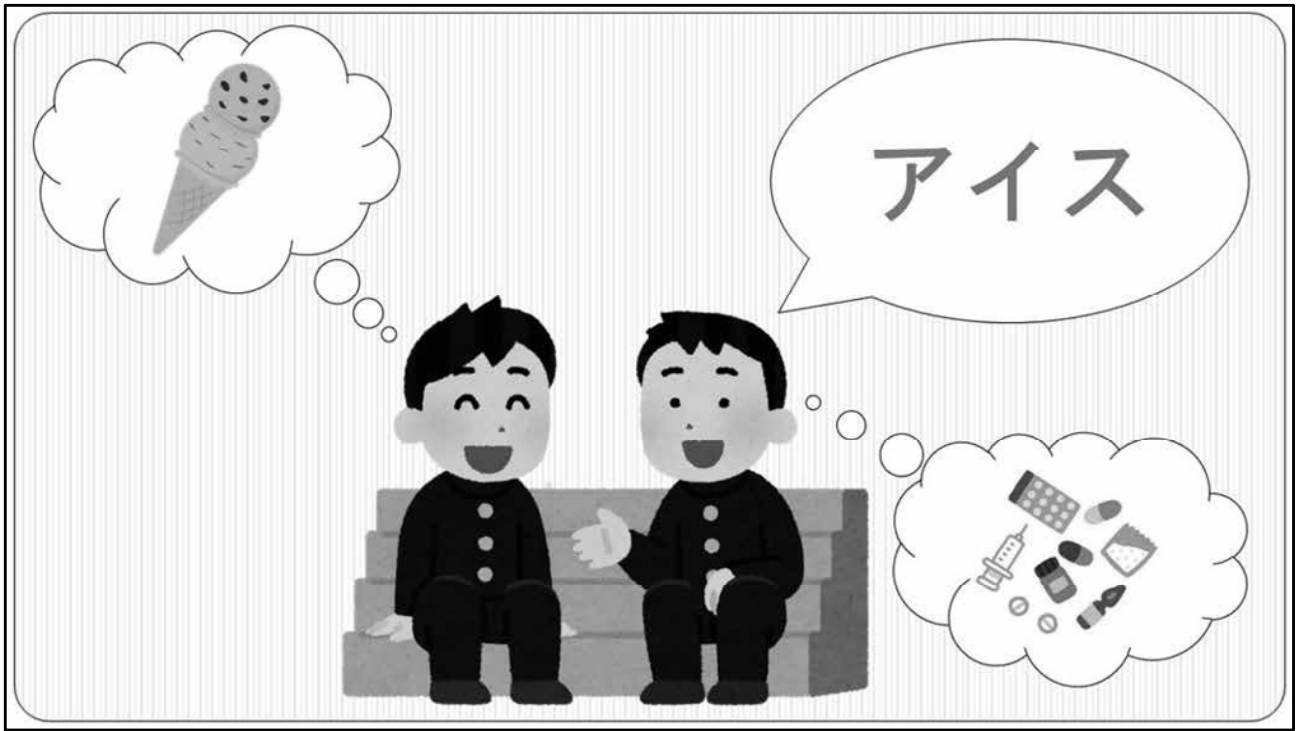


大麻クッキー

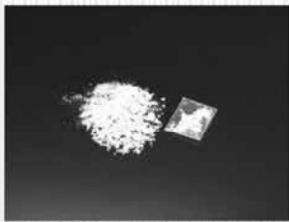


写真：厚生労働省提供

薬物は警戒心をなくしてもらうために、このような可愛らしい見た目になっていたり、



隠語で呼ばれたりします。



《 コカイン 》  
コーラ, ノースキャンディー, スノウ



《 大麻 》  
ハッパ, チョコ, 野菜, 草, ガンジャ



《 覚醒剤 》  
アイス, シャブ, スピード  
冷たいの, 白いの



写真：厚生労働省提供

いくつか紹介すると、麻薬の一つであるコカインは、コーラ・ノースキャンディー・スノウ。

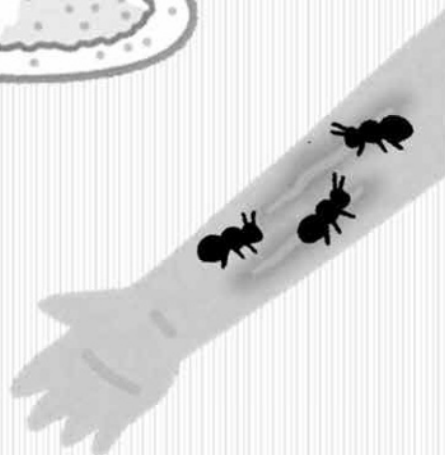
大麻は、ハッパ・チョコ・野菜。

覚醒剤は、アイス・シャブ・スピードなどこの他にも呼び方は様々です。

このような呼び方だと、違法な薬物だと気が付きませんよね。

## コカイン

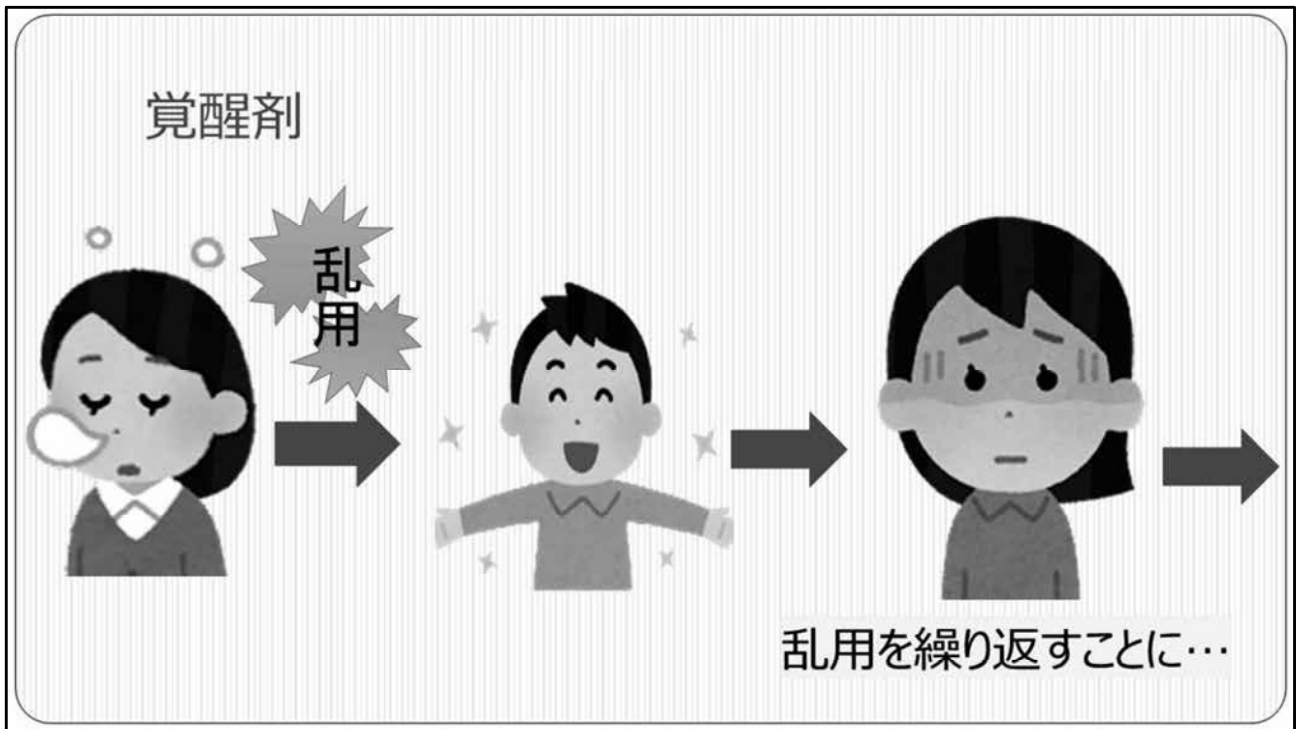
- 粉末
- 蟻走感
- 強い依存性



ここからは、主な乱用薬物について、それぞれ説明していきます。  
最初に説明するのは、麻薬の一つであるコカインです。  
コカインには無色か白色の粉状のもの、結晶性粉末のものなどがあります。  
強い依存性があり、実際にはいないはずの蟻などが、皮膚の下で動いているように感じる、蟻走感などの症状があります。







次に、覚醒剤についてです。

覚醒剤には興奮作用があり、乱用すると眠気や疲労感が消え、頭が冴えたように感じますが、その効果も数時間で消え、のちに激しい脱力感、疲労感、倦怠感に襲われます。

また、強い依存性を持っています。

## 危険ドラッグ

- 大麻、覚醒剤、麻薬と似ている

かつては...



興奮



幻覚



合法ドラッグ  
脱法ハーブ

次に、危険ドラッグについてです。

危険ドラッグは大麻、麻薬、覚醒剤と似た成分を含み、興奮や幻覚作用を持っています。

かつては、法律で規制されていない成分で構成されており、「違法」ではないとして、「合法ドラッグ」、「脱法ハーブ」などと言われていました。

医薬品

指示された用法・用量  
に従いましょう

薬物乱用



また、たとえ違法薬物でない医薬品であっても、正しい服用方法を守らない行為、大量摂取する行為なども、薬物乱用です。



最後に、現在最も流行していると言える、大麻について説明します。



## 大麻の有害性

### 大麻の乱用による影響

- ・ 知覚の変化
- ・ 学習能力の低下
- ・ 運動失調



### 大麻を長く使い続けることによる影響

- ・ 精神障害
- ・ IQの低下
- ・ 薬物依存

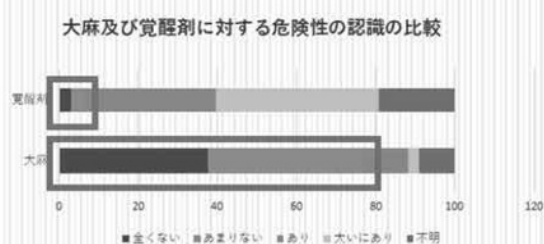


大麻は、乱用することで知覚の変化や学習能力の低下などを招きます。

さらに、長く使い続けることで、精神障害やIQの低下、依存症に繋がる恐れがあります。

## なぜ若者の大麻使用が急増したのか？

- ◆覚醒剤などに比べ、学生でも手が出しやすい金額だから。
- ◆インターネット等に「大麻は危険ではない」などと誤った情報が広がっているから。
- ◆覚醒剤に対する危険性の認識に比べて、大麻に対する危険性の認識がとて低から。



※調査対象者：令和3年の一定時期に大麻取締法で検挙された人のうち違反態様が単純所持の者  
出 典：警察庁ホームページ「令和3年における組織犯罪の情勢」から  
<https://www.npa.go.jp/publications/statistics/kikakubunseki/index.html>

大麻に対する危険性を軽視する情報はどこから？

⇒「友人・知人」「インターネット」が全体の78.7%を占めている！！

それでは、なぜ若者の大麻使用が急増しているのでしょうか。

その理由は大きく分けて三つあります。

一つ目は、覚醒剤などに比べ値段が安く、高校生などの若年層でも手が出しやすい金額だからです。

基本的に薬物は、非常に高価なものとしていますが、それらの薬物と比べても、大麻は安価で、私たち高校生でも買ってしまうような金額なのです。

二つ目は、インターネット等に「大麻は危険ではない。」などと誤った情報がひろがっているからです。

これには、海外の一部の国で、大麻の使用などが合法化されたことが背景の一つにあると言えます。

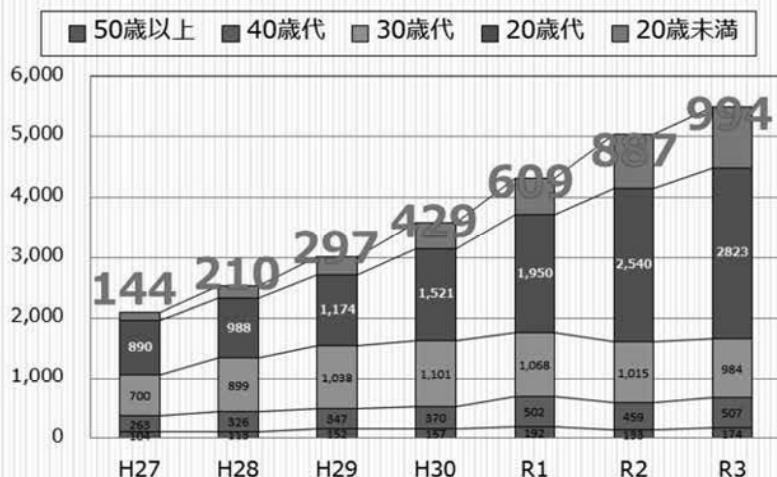
三つめは、覚醒剤よりも、大麻に対する危険性の認識が低いことからです。

グラフを見てください。これは警察庁が行った調査で、大麻と覚醒剤の危険性の認識をグラフ化したものです。

覚醒剤の危険性について「認識なし」が3.1%、大麻はなんと、「認識なし」が7.7%もいたことがわかっています。

このような大麻を軽視する情報源は友人やインターネットからが多くを占めています。

## 【大麻取締法違反の年齢別検挙人員の推移】



赤字に注目！！



**20歳未満の検挙者は7年間で約7倍**

※警察庁ホームページ「組織犯罪対策に関する統計」から  
<https://www.npa.go.jp/publications/statistics/kikakubunseki/index.html>

ここからは、私たちが大麻薬物乱用事件の摘発状況について説明します。

こちらのグラフをご覧ください。まとめられているのは、大麻取締法違反の年齢別の検挙人員の推移です。

見てのとおりに、20歳代、20歳未満が増加傾向にあります。

私たち高校生の年代である「20歳未満」については、7年間に検挙者数は約7倍にも膨れ上がっています。





次に、最近の大麻事犯の検挙事例を紹介します。

事例①では今年9月、密売人から大麻を奪おうとした少年2人が刃物で刺された事件が起こりました。

この二人は過去にも密売人を襲って大麻を奪い取ることに成功していました。

また、事例②では昨年、大阪府の集合住宅で「大麻部屋」ができていたこともあります。

この部屋は地元の少年らの間で有名で、一気に4人が逮捕されました。

そのうちの一人は大麻で儲けたお金で大麻を買っていたようです。



## 日本の大麻に関する罰則

- ・ 営利目的の所持・譲渡・譲受は  
7年以下の懲役または200万円以下の罰金
- ・ 輸入、栽培は10年以下の懲役  
または300万円以下の罰金

※大麻取締法より



覚醒剤やヘロインの場合最長で  
無期懲役が科されることも！

日本では大麻の営利目的の所持・譲渡・譲受には7年以下の懲役または200万円以下の罰金が科されることがあります。

それ以外にも、営利目的の大麻の輸入・栽培は10年以下の懲役または300万円以下の罰金と定められています。

## 大麻が合法的な国もあるって聞いたけど・・・

- ・ 大麻が合法的な国であっても、**未成年の所持、使用は禁止**されている国もある



これらの国はやむを得ず禁止することができないだけ！

**違法薬物には大麻のほかにも様々な種類があり、**

**そのどれもが**依存性**のある**危険**なもの**

大麻が合法的な国もあるのは事実ですが、しかし、法律などの規則は、それぞれの国の背景や事情をもとに作られているため、「大麻が安全」ということを示しているわけではありません。

例えば、大麻の使用を合法化しているカナダでも、大麻の有害性の影響を特に大きく受ける未成年の使用は禁じています。

これらの国は「大麻が安全」ということを認めているのではなく、「犯罪組織の資金源を断つ」などの理由で禁じているところもあります。

今回は大麻についてのみ紹介しましたが、違法薬物には他にも覚醒剤やコカインなど様々な種類があります。そして、そのどれもが依存性と有害性を持つとても危険なものです。

次は、思いもよらぬうちに「大麻の運び屋」になってしまった若者の話を、劇にして紹介します。

薬物の危険が身近に潜んでいることを感じてもらいたいと思います。

それではどうぞ!!

# 劇

～暗転した状態でナレーション～

弁護士：被告人から最後に何か伝えたいことはありますか。

アキラ：僕、本当に知らなかつただけなんです！

裁判官：では、判決を下します。被告人を懲役…

アキラ：僕がこんなことになってしまったのは、3か月前のことだった。

～明転～

明転してから下手入り

先輩：お前、今度一緒に海外旅行いかない？

アキラ：え、まじすか？でも俺、今めっちゃめっちゃ金欠なんすよ。

先輩：俺最近いいバイト見つけたからめっちゃ儲かってるんだよね。

アキラ：え、それ何のバイトですか？教えてくださいよ！

先輩：なんか、外国に旅行行くだけで金もらえるんだよね。  
しかも旅行費もタダだし。

アキラ：なんすかそのいいバイト！

先輩：ただ1つだけ条件があつて、現地で荷物を受け取って持って帰ってこなきゃいけないんだ。

アキラ：え…でもそれちょっと怪しくないですか？

先輩：全然！みんなやってるから大丈夫だよ。しかも、それが最近流行ってるらしくてさ～。俺の友達もやってる人多いよ！俺もこのまえ実際に行ったし！

アキラ：でもなあ…

先輩：おれと旅行行きたくないってこと？もう誘うのやめるわ。



～暗転、中央にスポット照明（アキラが移動しそこに入る）～



アキラ：

（荷物受け取るだけって…なんか怪しいなあ…。でもここで断ったら、先輩に誘ってもらわれなくなっちゃうんだよな。他に大した友達もいないし、一人になっちゃうな…。）

～暗転（アキラが元の位置に戻る）→明転～

先輩：で、どうするの？

アキラ：えっと…じゃあ、行ってみようかな…

先輩：了解！じゃあ受け取る場所の連絡先教えてくね。

～暗転～

ナレ：こうして、2人は海外旅行に行くことになりました。

果たして無事に帰国することができるのでしょうか。

～明転～

先輩：あー本場のステーキおいしかった！

アキラ：こんな最高の海外旅行なのに、タダなんて信じられないっすね！

先輩：だろー？

**【効果音①】マナーモード着信音**

先輩：あ、電話だ。

…ごめん、俺仕事の都合で先に帰らなきゃいけなくなっちゃった。荷物の受け取り1人でも大丈夫だから、お願いしてもいい？

アキラ：ちょっと心配ですけど…いってきます！

先輩：じゃあよろしく！

アキラ：旅行楽しかったな。こんなにお金がかからないで行けるなら、また行きたいな…

もうこんな時間か。受け取りに行かないと。

（現地の人役、下手から登場）

現地の人：あ、話は聞いてるよ。

これよろしくね。

アキラ：わかりました。これを持って帰ればいいんですよね。

現地の人：そうだよ。あとはよろしくね。



～暗転～

税関役とアキラ役の間に、机を一つ斜めに配置

ナレ：任務も果たし、あとは帰国するのみ。アキラは、空港へ向かいました。

【効果音②】ピーピーピー

税関職員：ちょっとお待ちください。  
荷物確認させてもらっても  
いいですか？  
アキラ：え？いいですけど…。



【効果音③】ガサゴソ（3秒再生）

税関：君、これなに？  
アキラ：それは…ただの荷物のはずですけど。  
税関：これ、大麻だよ？  
アキラ：いや、そんなの知らないです。ただお願いされて荷物を持って帰ってきただけ  
です…！  
税関：詳しく検査するね。検査結果は…大麻の陽性反応だね。  
14時50分、君を大麻密輸の疑いで現行犯逮捕する！  
アキラ：そ、そんな…

～暗転～

ナレ：なされるがままに、アキラは逮捕されてしまいました。  
そして事態は進行し、裁判にかけられることとなったのです。

～明転～

裁判官：それでは、開廷します。まず初めに検察官から論告をお願いします。  
検察官：はい。被告人は荷物の中身に大麻が入っていたことを否認しているものの、こ  
れまでの経緯から、荷物の中身に何らかの禁制品が含まれていることを十分に  
認識しうる状態にあったと考えます。  
よって、被告人を懲役5年に処するのが相当であると思います。  
裁判官：続いて弁護人、弁論をどうぞ。  
弁護士：被告人は、これまで薬物の犯罪歴はなく、荷物の中身に違法薬物が含まれてい  
ることを認識することは極めて困難といえます。  
よって、情状酌量の余地があると考えますので、被告人に執行猶予付きの判決を  
お願いします。



～暗転～

ナレ : アキラは思いもよらぬうちに、「運び屋」になっていたのです。自分が薬物に関わる事など絶対にはないと思っているあなたも、もしかしたら知らず知らずのうちに関わってしまう可能性もあります。また、もしあなたが先輩からこのような相談を受けたら、本当に断れるでしょうか。  
そうならないためにも、今一度理解を深めることが大切です。

～明転～

続きのスライドへ

# まとめ

## ～薬物から身を守るため～

これまでにお伝えしてきた内容の中からわかる、現在の薬物乱用に対する課題点をまとめてみたいと思います。これに関しては大きく2つの面に分けて説明していきます。



# 1 「一生関わることはない」という認識

◆多くの人の考え

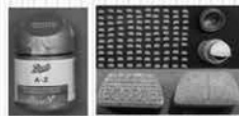
「簡単には薬物に接するような場に遭遇しないだろう」



木炭に練りこまれた覚醒剤

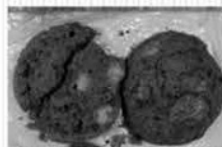


衣類に隠匿された覚醒剤



ビタミン剤に隠匿されたMDMA

姿、形を変え日本に…



さらに馴染みのあるものに姿・形を変える

写真：厚生労働省提供

そんなことはない！

お菓子やサプリメント、電子タバコなど、身近な物に姿・形を変えて、さまざまな形で何気なく現れる

※東京税関ホームページ「令和4年版密輸の動向」「報道資料」から  
<https://www.customs.go.jp/mizugiwa/mitsuyu/report2022/>

まず一つ目が、「多くの人が普通に過ごしていれば一生関わることはない」という認識です。

しかしそうとも言い切れず、違法薬物は姿も様々、日本への入り方、種類も様々で、ケースは多様化しています。

実際、日本では、毎年多くの違法薬物が密輸入されています。先ほどの劇でも紹介したように、若者が思いもよらぬうちに「大麻の運び屋」になってしまう事例もあります。

実際、コロナ禍といえど、税関での違法薬物の摘発量は、依然として多いままとなっています。

違法薬物は時によって小さな余分なスペースに入って、家具に塗り込んで、旅行者の手荷物になって、というように、なんとかしてでも隠し通そうとしてやってきます。

さらに、私たちのもとにも、お菓子であったり、サプリメントであったりと身近なものに姿・形を変えて何気なく現れてくる可能性もあります。

つまり、私たちの身の回り、「すぐそこ」に違法薬物があるのかもしれないのです。



## 2 若い世代に忍び寄る違法薬物

ある程度、大人にだけ関係していると思っていたけど…

ストレス社会で  
メンタルが弱っている



SNSの普及で  
薬物を入手しやすくなった



高校生、そして中学生の乱用のケースも！！



いかなる人においても、  
「絶対に違法薬物に関わらない！」というのは難しい

2つ目が、「薬物乱用には世代的な差がなくなりつつある」ことです。

現代の社会において、薬物乱用で捕まる世代は大人だけではありません。

大麻を中心に、高校生、あるいは中学生が巻き込まれて、薬物乱用に繋がってしまう事例が発生しています。

それには、このストレス社会の中でメンタルが弱り、そこに現れた依存性のある違法薬物に手を染めてしまう若者の精神的背景も関わっています。

SNSが薬物の入手経路になり、薬物を入手しやすくなってしまった今、若年層にも薬物乱用者が増えてしまっている現状です。

以上、薬物乱用に対する二つの課題点を挙げましたが、これら両方に共通して言えるのは、絶対に違法薬物に関わらない、とは言い切れないということです。

これが今考えられる最も重要な課題です。

ここまでの話は…

皆さんに無関係な話では  
ありません！！！！

いつ巻き込まれてもおかしくない！！

ここまでの話は皆さん自身に無関係な話ではありません。いつ巻き込まれてもおかしくはありません。旅行に行ったとき、繁華街で遊んだときなど薬物乱用への入り口はすぐそばにあります。



薬物は

⇒体だけでなく

心を蝕む



中毒になる



自分自身を壊してしまう



先ほど、課題点として挙げたように、現代社会はインターネットやSNSが発達していて薬物の誘惑が目の前に迫っています。

薬物は体だけでなく、心をむしばみ、気づいたときには中毒になり、抜け出せずに自分の未来を自分の手で壊すことにもなりかねません。

## REALの原則



### リフューズ

↳ 断る勇気をもつこと

### エクスプレーン

↳ 嫌だという気持ちを自分の口で伝える力のこと

### アボイド

↳ 危険な状況を回避する力のこと

### リーブ

↳ 危険な状況に遭遇したらすぐに逃げること

自分の未来は自分で守るために、高校生の皆さんにはREALの原則、

リフューズ、断る勇気を持つこと、  
エクスプレーン、いやだという気持ちを自分の口で伝える力、  
アボイド、危険な状況を回避する力、  
リーブ、危険な状況に遭遇したらすぐに逃げる勇気

を持ってほしいと思います。



そして、自分を受け入れてくれる居場所がなく、残酷な現実から逃げるために薬物に依存してしまう場合が後を絶ちません。

高校生は非常にコミュニティが狭く逃げ場がないため、いじめや同調圧力に耐えられなくなった結果、薬物に手を染めてしまったり、一瞬の快樂に逃げてしまった結果、10代が薬物の温床になる傾向が高まっています。



## 大事な人の居場所になってあげること



- ◆ 困っている子がいたら声をかけて心の声に耳を傾けてあげる
- ◆ 身近な大人に相談する
- ◆ 隣に寄り添う



**同年代だからこそ共有できる悩みがある！**

そして、自分だけでなく友達も薬物から守るためには、皆さん自身が大事な人の居場所になってあげることが大切です。

具体的には、困っている子がいたら声を掛けて、心の声に耳を傾けてあげたり、身近な大人に相談したり、隣に寄り添ってあげたりすることです。

同年代だからこそ、共有できる悩みがあることは、皆さんが一番よくわかっていると思います。

だからこそ、皆さんは誰かの心の拠り所になれる可能性を秘めているのです。

互いに心の拠り所となり、悩みや辛さを共有し、もし今後、仮に友人が薬物を使用している場面に遭遇しても、決して咎めず、相手の話を聞いて寄り添ってあげてください。

薬物の誘惑から身を守るためには、精神を健康に保つことも必要なのです。

あなた自身、あなたの言葉や行動が誰かの  
未来を救ってあげられるかもしれません。

薬物乱用を他人事としてとらえず、  
自分事としてとらえ、薬物の害から身を  
守りましょう。

あなた自身、あなたの言葉や行動が誰かの未来を救ってあげられ  
るかもしれません。

薬物乱用を他人事として捉えず、自分事として捉え薬物の害から  
身を守りましょう。

